

RITEメールマガジン No.73 2024/6/17

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 発行

このたび、RITEの2023年度の研究成果をまとめた研究年報「RITE Today Vol.19」を発行しました。研究グループ毎に成果をまとめた研究活動概説のほか、特集記事ではバイオ研究グループを取り上げ、2023年度から新たに開始した二つの事業について紹介しています。

是非ご高覧ください。

<https://www.rite.or.jp/results/today/>

本日、6月17日は大阪・関西万博開幕300日前です。

今号のコラムでは、万博関連の話題を専務理事の本庄より紹介します。



■□コラム□■

専務理事の本庄です。先般のメールマガジンで、2025年大阪・関西万博の会場でRITEネガティブエミッション技術の実証プラント（DAC）の新築工事の起工式を執り行ったことを紹介しましたが、今般は、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の十倉会長名の感謝状をいただきましたので、ご紹介します。

RITEは、大阪・関西万博での未来社会ショーケース事業に協賛者として、RITEネガティブエミッション技術の実証プラント（DAC）を出展することになっています。この実証プラントは、大気からCO₂を直接回収する技術であるDAC（Direct Air Capture）を中心とし、回収したCO₂は、地下に貯留するCCS（貯留するのは万博会場内ではなく、別のCO₂貯留サイトになります）、アスファルト舗装材に用いる炭素固定、水素と結合させてメタンガスを製造するメタネーションなどに用います。また、この実証プラントには、地球温暖化対策の必要性から始まり、DACのコンセプト、CCSのコンセプトなどを立体映像などを用いて解説するガイダンス施設も併設します。協賛者として、これらの事業を展開することを評価していただき、博覧会協会から感謝状をいただいたものです。

去る5月20日、博覧会協会の河本健一企画局長がRITEを訪問され、会長名の感謝状を私に渡してくださいました。



河本局長（左）と筆者（右）

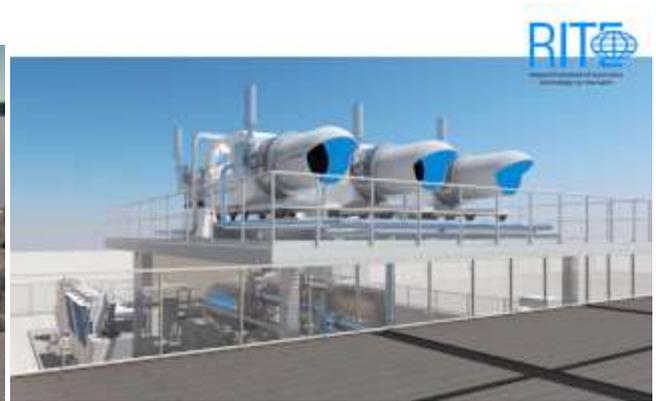


大阪・関西万博の開幕まであと残すところ300日です。会場では、急ピッチでネガティブエミッション技術の実証プラント（DAC）の建設が進んでいます。ガイダンス施設でお見せする映像の制作にも取り掛かり、着々と準備を進めています。

どうか、大阪・関西万博にお越しになれる際は、RITEネガティブエミッション技術の実証プラント（DAC）にお越しください。



実証プラント全体イメージ図



DAC実証装置イメージ図

■□お知らせ□■

◇ 2023年度の研究成果をまとめた研究年報 RITE Today Vol.19（2024年）を掲載しました
<https://www.rite.or.jp/results/today/>

◇ 2024年夏休み 小学生向け工作・実験教室開催のご案内
<https://www.rite.or.jp/news/events/2024/06/summerws2024.html>

■□研究助手募集□■

◇ バイオ研究グループでは、研究管理業務を行う研究助手を募集しています
https://www.rite.or.jp/news/recruitments/bio/post_39.html

■□共催のお知らせ□■

◇ 第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス
会期：2025年1月28日（火）～29日（水）
会場：東京大学 生産技術研究所
主催：一般社団法人エネルギー・資源学会

★☆☆RITEの風景☆☆☆

RITEの敷地内には多くの木が植わっていて、野鳥が巣を作っている木もあります。初夏は巣立ちの季節で、先日、コゲラ、コサメビタキ、そしてシジュウカラの巣立ちが観察できましたのでご紹介します。



餌を運ぶコゲラの親（オス）



コゲラのヒナ



巣立ちしたヒナ
(少なくとも2羽確認)

コゲラは日本で一番小さいキツツキで、木の幹に潜む昆虫を捕らえるので樹木を守る役目も果たしています。



コサメビタキの親



コサメビタキのヒナ
(少なくとも2羽確認)

コサメビタキは全長13cmほどのスズメよりも小さい鳥で、東南アジアや南アジアで越冬し、春から夏に日本に渡ってきます。繁殖個体数が少なく近年減少しており、京都府では絶滅危惧種に指定されています。



シジュウカラのヒナ（少なくとも4羽確認）

シジュウカラは他の鳥に比べてたくさんの種類の鳴き声を持っています。その鳴き声はそれぞれに意味を持つ単語になっていて、更に、この単語を使って文章を作り、仲間とコミュニケーションを取っているそうです。

巣立ったヒナたちが無事に育つことを願っています。

<観察した職員からのコメント>

RITEは林に囲まれ、年間を通じて40種あまりの野鳥を見ることができます。

初夏のこの時期、写真で紹介した以外に、イソヒヨドリ、セグロセキレイ、メジロ、カワラヒワなどの子育ての様子が見られます。

このメールはRITEメールマガジン配信サービスにご登録いただいた方および、RITE主催もしくは共催のシンポジウムにお申込みいただいた皆様の中で「メールマガジンの送付を希望する」とご回答いただいた方へお送りしています。

●メールマガジンの配信先変更および配信停止を希望される場合は、「宛先変更」もしくは「配信停止」と記載し、下記までご連絡ください。

pub_rite@rite.or.jp

●本メールマガジンの記事内容へのお問い合わせ、ご意見は下記のページよりお願いします。

<https://www.rite.or.jp/contact/>

◇このメールマガジン配信サービスは無料です。

◇RITEからのお知らせを不定期に配信する場合がありますので、予めご了承下さい。また、都合により配信を休止することがあります。

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

〒619-0292 京都府木津川市木津川台9-2

Copyright(C) Research Institute of Innovative Technology for the Earth

All rights reserved.